

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	国際交流センター維持補修事業		
部局名	企画部	課(室)名	秘書室

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	～ 永年	目	26国際交流費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	005国際交流事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市国際交流センターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	国際交流センターは、外国諸都市との相互理解と友好親善を深め、市民と外国人との交流、国際交流に関する普及啓発等を行う活動の拠点となっている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市国際交流センター	清掃・保守点検により施設内外を適切に管理し、必要に応じ施設の修繕を行う。	国際交流センターを市民が快適に使用することのできる施設とする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		6,390	6,882		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	国際交流センターは、外国諸都市との相互理解と友好親善を深め、市民と外国人との交流、国際交流に関する普及啓発等を行う活動の拠点であり、大幅なコスト削減は難しく、現状維持と考える。
--	--

※事業費と財源内訳

決算額	6,882	内訳	国費	県費	市債	他	262	一般	6,620
-----	-------	----	----	----	----	---	-----	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	国際交流補助事業		
部局名	企画部	課(室)名	秘書室

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	～ 永年	目	26国際交流費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005国際交流事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	加古川市の国際交流事業については、(公財)加古川市国際交流協会が加古川市と調整・協議を行いながら実施している。これまでの事業継続が市民・市内在住外国人に広く知られるところになっている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市民及び市内外国人居住者及び姉妹都市等外国人	(公財)加古川市国際交流協会に対し運営補助金を支出し、加古川市民と外国人との交流事業を実施する。 (公財)加古川市国際交流協会国際交流事業及び管理運営事業を補助対象とする。	市民の国際交流と国際理解を高めるとともに、外国諸都市の相互理解と友好親善を深める。また、外国人居住者の生活に関する問題解決を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市内在住外国人	人	2,484	2,456	2,426		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,887	268,390	268,171		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
実施事業数	事業	16	28	30		

活動指標分析結果	1年間に行う事業数については、妥当な事業数と考える。			
事業費	千円	3,559	6,562	6,737

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業参加人数	人		450	400	450	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		435	393	452		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	事業の中には参加人数が応募数に達していないものが見受けられるので、今後、事業内容、PR方法について検討の余地があると考えられる。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 国際交流協会は、市民の国際認識と国際理解を高めるとともに、外国諸都市との相互理解と友好親善を深め、市民と外国人との交流、国際交流に関する普及啓発等の事業を行っており、大幅なコスト削減は難しく、現状維持と考える。
---

※事業費と財源内訳

決算額	6,737	内訳	国費	県費	市債	他	一般	6,737
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	マリンガ市姉妹都市40周年記念事業		
部局名	企画部	課(室)名	秘書室

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	平成25年度～平成25年度	目	26国際交流費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	010マリンガ市姉妹都市40周年記念事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	1973年に姉妹都市提携を行って以来、教育や文化交流を重ねてきた。平成25年度に40周年を迎えた。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
市民及び姉妹都市等外国人	(公財)加古川市国際交流協会に委託し、加古川市・マリンガ市姉妹都市提携40周年記念事業を実施する。				マリンガ市と姉妹都市提携して以来、40年間にわたり、教育、文化などの多くの分野で交流を重ねてきた。40周年を記念し、両市のさらなる交流を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人			268,171		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
実施事業数	事業			2		
活動指標分析結果	2事業(マリンガ市への訪問事業(式典参加等)、マリンガ市からの訪問団受入事業)については、妥当な事業数と考える。					
事業費	千円			2,700		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業参加者数	人			211	211	平成25年度
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	加古川市、加古川市議会、商工会議所、その他多くの市民が姉妹都市提携40周年事業に参加し、両市のさらなる交流を図ることができたと考える。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響はない
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	事業完了
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
マリンガ市への訪問事業、マリンガ市からの訪問団受入事業を通じて、両市の友好を更に固い絆で結ぶ機会となった。また、本市における将来の国際交流の進展にも大きく貢献する機会となった。

※事業費と財源内訳

決算額	2,700	内訳	国費	県費	市債	他	一般	2,700
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	文化活動振興に要する一般的経費		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	～ 永年	目	25文化振興費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	020文化活動振興事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法		

【現状と課題】

現状と課題	文化活動振興にかかわる一般的な経費を必要最小限負担。
-------	----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民、各種文化団体	○ロビーコンサートで使用する1階ピアノ調律代○寄附申出者への感謝状授与○東播磨文化団体連合会旅費、等。以上の費用を負担する。	文化的な市民生活の向上を図る。芸術文化団体や寄附申出者への情報提供やさらなる文化振興を促す手助けをする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		218	168		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
文化振興に関する一般経費として必要最小限な内容であり、このまま維持していくべきと考える。

※事業費と財源内訳

決算額	168	内訳	国費	県費	市債	他	一般	168
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	市民会館管理運営事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	昭和48年度～永年	目	13市民会館費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	005市民会館管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法、加古川市民会館条例、加古川市民会館条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	市民会館は、市民文化の向上と福祉の増進を目的として昭和48年にオープンし40年が経過した。平成21年度より指定管理者制度を導入し、民間活力によるより効果的な施設の管理運営を実施しているが、市民ニーズが多様化する中、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民及び利用者	市民に文化活動の場を提供するとともに、集会・研修会をはじめとする諸会議等幅広く貸館業務を行う。なお、事業実施にあたっては、指定管理者制度を導入している。	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	104,873	106,704	75,866		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされており、サービスの質が確保されていると評価している。今後とも、市民に親しまれる魅力のある施設となるよう、より効果的なモニタリングの手法について検討する必要がある。また、平成25年9月より1年間改修工事を行うが、今回の工事に該当していない設備の老朽化が著しいため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	75,866	内訳	国費	県費	市債	他	94一般	75,772
-----	--------	----	----	----	----	---	------	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	総合文化センター管理運営事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	昭和60年度～永年	目	18総合文化センター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	005総合文化センター管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川総合文化センターの設置及び管理に関する条例、条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度を導入している。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民及び利用者	市民に文化活動の場を提供する貸館業務や、主に文化、考古、宇宙科学等にふれる機会として自主事業を行う。なお、管理運営にあたっては、指定管理者制度を導入している。	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		93,808	96,125		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされており、サービスの質が確保されていると評価している。今後とも、市民に親しまれる魅力のある施設となるよう、より効果的なモニタリングの手法について検討する必要がある。また、開館後28年が経過しており、設備の老朽化が目立ってきたため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	96,125	内訳	国費	県費	市債	他	4,946	一般	91,179
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	平成6年度～永年	目	25文化振興費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	005松風ギャラリー管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市立松風ギャラリーの設置及び管理に関する条例、条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度の導入を行ったが、今後市民ニーズの多様化に対応するため、施設の管理方法について検討する必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民及び利用者	市民に文化活動の場を提供するために貸館業務を行う。また、芸術文化の振興を図るため自主事業を実施する。なお、管理運営については、指定管理者制度を導入している。	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		13,712	13,745		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	指定管理者制度の導入により、指定管理者による管理運営がなされており、サービスの質が確保されている。今後、施設規模や貸館数も少ないことから、次期指定管理者制度の募集に合わせ、より地域の利用を促進するための管理方法について検討を行う。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	13,745	内訳	国費	県費	市債	他	一般	13,745
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	昭和26年度～永年	目	25文化振興費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015美術展開催事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	平成16年度から加古川市文化振興公社に、平成21年度から財団統合後の加古川市ウェルネス協会に委託して実施。受託者は委託料と出品料で運営。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
美術愛好家、及び市内各幼稚園・保育園児	加古川市美術展開催(日本画・洋画・写真・書道・彫塑・工芸)、幼児画展開催	入賞作品の鑑賞を通じて、地域の芸術活動の振興となることを目的とする。また園児や美術愛好家の創作意欲の奨励を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,001	268,053		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
美術展開催日数	日			8		
幼児画展開催日数	日			3		
活動指標分析結果	美術展及び幼児画展とも、来場者数は直近4年間に於いて一定の水準を維持している。					
事業費	千円		4,290	4,670		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
美術展観覧者数 上段:計画値/下段:実績値	人			3,858	4,000	平成27年度
幼児画展観覧者数 上段:計画値/下段:実績値	人			3,404	3,500	平成27年度
成果指標分析結果	美術展の出品点数は年々微増している。幼児画展の参加園はほぼ一定数ではあるが、出品点数が微減しているが、観覧者数は一定の規模を維持している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
美術展及び幼児画展とも、来場者数や出品数がここ近年一定の水準を維持しているため、引き続き芸術文化振興を図っていく。

※事業費と財源内訳

決算額	4,670	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,670
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------



加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	文化まつり開催事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	昭和39年度～永年	目	25文化振興費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	020文化活動振興事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法		

【現状と課題】

現状と課題	市の委託事業のため、先行予約ができるメリットがあるが、各団体の費用持ち出しが多い。予算の都合上、施設を使用していない団体や使用料が減免(無料)の団体には補助が出ない。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
文化連盟加盟団体	文化連盟に所属する各団体が開催する「文化まつり」イベントへの会場使用料等の補助				市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供するとともに文化団体がそれぞれのジャンルにおいてイベント等を開催し、広く発表の機会を与える。	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
文化連盟加盟団体数		団体			23	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
文化まつり参加団体		団体			19	20 平成27年度
活動指標分析結果	3年に1度開催の日本舞踊以外は文化まつりに参加している。					
事業費		千円		1,400	1,400	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
事業参加者数		人			15,599	18,000 平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	文化まつり開催事業への参加者数は近年特に変化はない。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 平成26年度には「文化まつり」50回を迎える。今後も継続して文化連盟加盟団体の文化の催しをサポートしていきたい。
--

※事業費と財源内訳

決算額	1,400	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,400
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	情報ランド発行事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	平成8年度～平成25年度	目	25文化振興費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	020文化活動振興事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	文化イベント情報を、月ごとにまとめ一目で市民にわかるものを提供している。
-------	--------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
市民及び近隣市町住民	芸術文化振興のため、市民に市内施設のイベント情報、文化情報を月ごとにまとめ提供する。				情報ランドを発行することにより、市民が各文化施設に個々に問い合わせせずとも、月ごとの文化施設でのイベント情報等が一目でわかる。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,390	268,053		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
情報ランド発行回数	回		12	12		
活動指標分析結果	今後も各文化施設と協力し、さらなるイベント情報・文化情報の提供に努める必要がある。					
事業費	千円		858	901		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
情報ランド発行部数	部				33,000	平成27年度
					33,000	
成果指標分析結果	健康で文化的な市民生活の実現に向け、各施設と連携しより多くのイベント周知に図る。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	見直しすべき
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	事業完了
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は小
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	事業完了
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
次期指定管理者の公募の際には廃止し、各指定管理者による情報提供へ移行する。よって平成25年度が最後の事業となる。

※事業費と財源内訳

決算額	901	内訳	国費	県費	市債	他	一般	901
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	棋士のまちPR事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	平成25年度～永年	目	25文化振興費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	045棋士のまちPR事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	日本将棋連盟が将棋普及に理解のある全国の自治体に呼びかけ、一同に会し交流及び情報交換を行なう目的を持ったサミットだが、初年度ということで15団体に留まった。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民及び参加者	マスコミへの露出、パンフレットの配布、将棋文化振興自治体サミットへの参画、加古川将棋まつりの開催など	加古川清流戦開催事業と相乗し、「棋士のまち加古川」を啓発する				
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
加古川市人口(10/1付推計人口)		人			268,053	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
棋士のまち加古川パンフレット発行部数		部			6,000	
加古川将棋まつりの開催		回			1	
活動指標分析結果	始まったばかりの事業であり、棋士のまち加古川のPRに努めた。					
事業費		千円			1,830	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
将棋サミット参加自治体		団体			15	20 平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	将棋サミットの開催が初年度のため15団体に留まった。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
公式棋戦(加古川清流戦)の開催とあわせ、「棋士のまち加古川」を全国に発信するとともに、全国の自治体と交流を図り、情報交換の機会が持てるのは有益である。	

※事業費と財源内訳

決算額	1,830	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,830
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川清流戦開催事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	平成23年度～永年	目	25文化振興費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	040加古川清流戦開催事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	四段、三段棋士という将来の活躍が期待される若手棋士のタイトル戦という特徴がある。日本将棋連盟からは最低5年間は継続開催することを条件として公式棋戦を創設した経緯がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
プロ棋士及び参加者	四段、三段棋士を中心に、女流棋士及びアマチュア代表等を加えたトーナメント戦を実施する。				将来の活躍が期待される若手棋士のタイトル戦を行うことにより、「棋士のまち加古川」を市のみならず全国に継続的に発信する。	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
加古川清流戦出場者		人			44	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度
日本将棋連盟契約金		円			15,000,000	平成27年度
活動指標分析結果	今後もさらなる事業のPRに努め、参加者の増加を目指す。					
事業費		千円		23,168	23,802	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度
集客数		人			518	600 平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	今後も文化的な市民生活の実現に向け、魅力あるまちづくりを目指す。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 公式棋戦(加古川清流戦)を通じて「棋士のまち加古川」を全国に発信し、芸術文化の振興を図ることができる当該事業の存在意義は大きい。
--

※事業費と財源内訳

決算額	23,802	内訳	国費	県費	市債	他	5,500	一般	18,302
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	市民会館耐震化等改修事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	平成24年度～平成26年度	目	13市民会館費
事業区分	⑦投資事業	細目	010市民会館耐震化等改修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市民の安全・安心を確保するとともに、快適に利用してもらえるよう、必要最小限の改修を平成25年9月～平成26年8月に実施する。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
市民会館	市民会館の耐震補強工事、防水改修、施設の一部バリアフリー化、設備改修を実施する。				延命化を図るとともに、利用者が安全に安心して快適に利用できる施設に位置づける。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
市民会館	施設		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
設計委託発注件数	件		1	1		平成26年度
設備更新件数	件			1		平成26年度
活動指標分析結果	平成24年度に設計を行い、平成25年度から平成26年度の期間、改修工事を行う。					
事業費	千円		6,983	296,567		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
設計委託発注率	%		100	100	100	平成26年度
設備更新率	%			100	100	平成26年度
成果指標分析結果	設計委託の発注、設備更新を適正に実施した。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市民の安全・安心を確保するとともに、快適に利用してもらえるよう耐震補強工事等改修することは必要である。
---

※事業費と財源内訳

決算額	296,567	内訳	国費	19,035	県費		市債	271,500	他		一般	6,032
-----	---------	----	----	--------	----	--	----	---------	---	--	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	総合文化センター設備改修事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	02総務費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	01総務管理費
期間	平成24年度～永年	目	18総合文化センター費
事業区分	⑦投資事業	細目	010総合文化センター設備改修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	毎年、営繕住宅課へ申請する計画修繕の中で、原課対応と判断された補修事業の中で、市民の安全や市民ニーズを判断し、計画的に施設・設備の改修を行う必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
総合文化センター	文化センターにかかる施設、設備、備品の更新を行う。	施設運営が快適となり、利用者の利便性を向上させる。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
総合文化センター	施設		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
設備更新件数	件		2	2		

活動指標分析結果	エレベータ1号機作動油交換(荷物運搬用)並びにサークル室の窓改修を行う。				
事業費	千円		648	1,490	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
設備更新率	%		100	100	100	平成25年度

成果指標分析結果	計画どおり設備更新を実施し、利用者の利便性を向上させた。
----------	------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 閉館後28年が経過し、施設・設備の老朽化が目立ってきている。施設の計画的な維持補修を行うことで、市民の安全・安心を維持することができ、延命化を図ることが必要である。
--

※事業費と財源内訳

決算額	1,490	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,490
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	文化財保護に要する一般的経費		
部局名	教育指導部	課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	10教育費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	04文化財保護費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	010文化財保護活動事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、加古川市文化財の保護に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	2001年の文化芸術振興基本法の制定を経て、文化財保護を含む文化のさらなる社会的認知がなされてきていると言える。近年は、可能な限り他の補助金事業を活用して、同様の事業を振替えてきたが、補助金事業の終了とともに、本来の事業に戻しておく必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
指定・登録文化財及び遺跡を中心とした文化財及び全市民が対象である。	文化財保護行政に係る事務を適切に行うとともに、文化財講座の開催、文化財ニュースの発行、文化財説明板等の設置、文化財の情報提供等の文化財保護意識を高める事業を行う。	市民の文化財保護意識を高め、文化財の公開等活用を進めながら、次世代のために文化財を良好な状態で保存する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	2,204	2,085	2,074		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
文化財事務全般としては、体制の充実や予算の増加など抜本的な見直しが必要である。この事務事業に限れば、老朽化した文化財説明板等の整備、文化財の保存と活用に対する要望や質問の対応、情報発信など、積み残しになっている多くの問題と課題を優先順位を定めて取り組んでいく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	2,074	内訳	国費	県費	市債	他	18一般	2,056
-----	-------	----	----	----	----	---	------	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	史跡等維持管理事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	10教育費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	04文化財保護費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010文化財保護活動事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、加古川市文化財の保護に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	2001年の文化芸術振興基本法の制定を経て、文化財保護を含む文化のさらなる社会的認知がなされてきていると言える。また、里古墳及び平木橋等、新たに草刈等を行う必要のある管理すべき文化財が増加している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市が管理する、本岡家住宅、史跡西条廃寺、西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)、日岡山古墳群(南大塚古墳、西大塚古墳等)、里古墳、平木橋等の建造物及び史跡等の文化財、及び全市民が対象である。	加古川市が管理する建造物及び史跡等の文化財について、草刈、清掃、建物の維持管理を行う。また必要に応じて見学者への対応を行う。	加古川市が管理する建造物及び史跡等の文化財を適切に管理する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	1,959	1,964	1,969		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
草刈をはじめ対象面積と頻度が十分でない状態であるが、経費を増やすことができないため、現状を基本に、現場の状況に応じた部分改善を行っていく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	1,969	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,969
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------



加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	文化財調査事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	10教育費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	04文化財保護費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005文化財調査事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	加古川駅北区画整理事業や野口・坂元区画整理事業が進む中で、溝の口遺跡や坂元遺跡の中での開発に最優先に対応する必要があった。このため、他の遺跡や文化財の調査などが先送りにされ、また、現場作業に追われ、調査報告も十分に行われていない。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
開発に伴い破壊の恐れのある埋蔵文化財、及び、保護のための調査が必要なその他の文化財を対象とする。	開発に伴い破壊の恐れのある埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為の前に確実に確認調査等を実施し保存に努める。その他の文化財については、保存のための調査が必要な場合に適切な調査を実施する。	文化財を開発や不適切な行為による破壊、消失、損傷などから防ぎ、適切に保護するための調査事業である。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
埋蔵文化財包蔵地件数	件		636	637		
指定・登録文化財件数	件		151	153		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
文化財調査依頼件数	件		33	65	53	平成27年度

活動指標分析結果	開発に伴う埋蔵文化財確認調査及び埋蔵文化財本発掘調査をはじめ、必要な埋蔵文化財の調査を中心に対応することを指標とする。その他の文化財については、現状では軽易なものしか行っていないが、今後、文化財保護のために必要な調査を実施する方向を考えている。					
事業費	千円		2,001	2,004		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
文化財調査実施件数	件			15	33	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			33	38		
文化財調査報告件数	件			0	4	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			0	0		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	必要な文化財調査を実施することを第一の成果指標とし、調査報告書の発行を第二の指標とするが、現場作業に追われ調査報告書の発行に至っていないところは課題である。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

■ 拡充 □ 維持 □ 縮小 □ 改善 □ 統合 □ 廃止 □ 休止 □ 完了	
平成25年度は本発掘調査が無かったため、ほぼ適切に処理することができた。開発に伴う埋蔵文化財事務処理及び調査の件数が大きく増加している中、現在の体制では、緊急性の高い発掘調査の現場対応だけで手一杯の状況である。また、過去の発掘調査に伴う出土遺物整理や調査報告等の事務が積残しになっている。今後、道路建設事業やほ場整備事業に伴う大規模な発掘調査の計画があり、積残しの事務の解消と合わせ、文化財調査体制の整備・拡充が必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	2,004	内訳	国費	1,000	県費	500	市債		他		一般	504
-----	-------	----	----	-------	----	-----	----	--	---	--	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	10教育費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	04文化財保護費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010文化財保護活動事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	基本的には、時代によって変化するものではない。一部、この補助制度を活用しても所有者等に半額以上の負担があるため、所有者が不明となっている石造品等について、管理団体に指定されている町内会が経費負担しにくいものについての対応などの問題が出始めている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市内の指定文化財のうち、修理又は保存管理等文化財保護のため、所有者等の特別な負担があり、補助が必要な文化財が対象である。	指定文化財の状況を把握し、所有者等からの申請を受けて、必要に応じて補助を行う。	指定文化財を適切に保存管理することができ、また、公開されることで、文化財の保護と活用が進む。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
指定文化財件数	件		114	116		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
文化財補助金申請件数	件数		6	4	6	
文化財補助金申請額	千円		2,151	320	1,320	
活動指標分析結果	指定文化財の保存管理及び修理に対する補助金申請の件数と総額を指標とすることで、この事業の活動の規模を確認できると考える。修理保存事業が多かった平成24年度の反動で、平成25年度の補助事業が少なくなっている。					
事業費	千円		2,151	320		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
文化財補助金事業実施件数	件		6	4	6	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値				4		
文化財補助金事業補助金交付額	千円		2,151	320	1,320	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値				320		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	保存管理及び修理の内容の詳細は数値化することに馴染まないため、補助金申請に基づいた実施件数と補助金交付額指標とすることで、この事業の成果の規模を確認できると考える。補助事業が少なかったこともあり計画どおり実施した。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
保存管理内容や修理内容は、対象となる文化財の状況によってさまざまであり、個別に判断していく必要がある。平成25年度は修理事業が無かったため事業の規模は小さかった。今後、整備及び修理の計画があるため、計画に応じて適切に取り組んでいく必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	320	内訳	国費	県費	市債	他	一般	320
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	人塚古墳整備事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する	款	10教育費
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ	項	07社会教育費
期間	平成17年度～平成28年度	目	04文化財保護費
事業区分	⑦投資事業	細目	015西条古墳群史跡整備事業
地区別	加古川北地区		
関連根拠法令等	文化財保護法		

【現状と課題】

現状と課題	平成7、8年の行者塚古墳の整備事業に先立つ調査で、わが国の古墳時代の研究のために極めて貴重な成果が多数あった。平成17年に事業が開始され、古墳の形状等を確認する調査を行うとともに、現状をできるだけ活かした方法で、園路整備などの事業を進めている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)のうち人塚古墳(山手2丁目)が対象である。	国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)の発掘調査成果を活用し、臨場感のある史跡整備を行う。				国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)を整備することにより、史跡の保存と活用を図るため。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,110	268,390		
国史跡西条古墳群のうち人塚古墳の面積	m <sup>2</sup>		9,123	9,123		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
西条古墳群史跡整備事業計画率	%		66	75	100	平成28年度
活動指標分析結果	西条古墳群史跡整備事業全体の中で、事業費ベースの計画目標の率を活動の指標とした。ほぼ計画どおりである。					
事業費	千円		1,492	7,174		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
西条古墳群史跡整備事業実施率	%			75	100	平成28年度
			66	75		
成果指標分析結果	西条古墳群史跡整備事業全体の中で、事業費ベースの事業実施率を活動の指標とした。ほぼ計画どおり実施した。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 西条古墳史跡整備事業全体の中で、全体の75パーセントの進捗状況となる。事業の中で得た貴重な古墳の発掘調査の成果があり、今後、それをまとめる必要がある。そのため、平成26年度に事業終了予定の計画であったが、事業期間を延長する必要があるが生じている。
---

※事業費と財源内訳

決算額	7,174	内訳	国費	3,589	県費	1,794	市債		他		一般	1,791
-----	-------	----	----	-------	----	-------	----	--	---	--	----	-------